

## 朝 礼 拝 順 序 ( 午 前 10 時 半 )

前 奏	司式 熊田雄二牧師
開 会 招 詞	奏楽 森永美保姉妹
* ソング シート	12 : 1 聖なる聖なる聖なるかな (讃美歌 6 6)
* 開 会 祈 禱	
罪 の 告 白	祈禱書 2
罪の赦しの宣言	
十 戒	祈禱書 4
* ソング シート	48 : 1 主よ終わりまで仕えまつらん (讃美歌 3 3 8)
公 同 の 祈 禱	祈禱書 18 聖霊降臨節第一主日
献 金	(黒) 教会活動 (赤) 東北中会伝道所 70
<u>毎週の礼拝献金については、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。</u>	
毎月の教会献金(月定)についても、会堂での礼拝再開時にまとめてお捧げください。	
聖 書 朗 読	コロサイの信徒への手紙 3 章 12~17 節 (新約 3 7 1 頁)
説 教・祈 禱	礼拝は生命③「詩篇と賛歌と霊的な歌」 熊田牧師
* 賛 美 歌	51 : 1 主にありてぞ我は生くる (讃美歌 3 6 1)
* 主 の 祈 り	祈禱書 1
* 頌 栄	64 み恵みあふるる (讃美歌 5 4 0)
* 祝 禱	
後 奏	
報 告	長老

※ 週報裏面に、コロナ対策班の門脇陽子長老紹介による資料があります。全部ではなく一部ですが、「讃美：リスク高。マスク着用など。」というのがあります。今朝の礼拝では、マスクをした場合を想定して、息苦しくならないよう、一節だけ歌う試みをしました。

また、「教会堂での活動再開後も、実際のリスクや不安から来ることができない人のために、当面、礼拝のライブストリームやWEB会議を継続する。教会に来ないことで疎外感を感じることがないように配慮する。」と、あります。本日の臨時小会・執事会では、コロナ対策班の報告を受けて協議しますが、当面、今の動画配信や郵送は続くものと思われます。

緊急事態解除から一週間経ちますが、来週の定期小会・執事会まで、もう一週間あります。首都圏の様子を見守りましょう (熊田雄二)。

○ 本日 ● 臨時小会・臨時執事会 午後 1 時 コイノニアホール&ネット

○ 次週 ● 定期小会・定期執事会 午後 1 時 コイノニアホール&ネット

【次週朝拝】 第一ヨハネ 1 章 礼拝は生命④ 「罪の告白と赦しの宣言」 熊田牧師  
ソングシート 13(讃美歌67)、52(讃美歌367)、47(讃美歌361)、65(讃美歌541) 大日南苗香姉妹

6月	CS幼少	CS中高	CS成人	朝 拝	子供/ジュニア	夕 拝
7				熊田牧師		
14				S 宣教師		
21				熊田牧師		
28				熊田牧師		

朝拝説教はインターネット動画（HPより）・メール配信あるいは郵送します

## 【 礼拝および教会活動の指針 まえがき 】

- 1 礼拝および教会活動の指針（以下、礼拝指針と略す）は日本キリスト改革派教会の憲法であって、他の憲法、すなわち、ウエストミンスター信仰基準（規）、政治規準、訓練規定と同様、教会及び教会役員に重んじられる教會的文書である。
- 2 礼拝指針は、日本キリスト改革派教会の礼拝と教会活動のあり方を示し、教会の諸活動を推進し、教会員の靈性と敬虔の向上をめざしている。
- 3 礼拝指針は、多様な教会活動、特に礼拝の現実と関わるので、それぞれの教会の礼拝や教会活動の方向性を示している。
- 4 大・中会、各個教会、および教師をはじめ教会役員は礼拝指針をさまざまな領域において適用するため、学習し、解説して、礼拝指針の趣旨の徹底をはかる。

序 礼拝は生命③というのは、今年のテーマに関して、すでに2回行なったからです。

①「招き」については、1月の定期会員総会主日に、毎年同じように、年間テーマの説教をしました。今年は「礼拝は生命(いのち)」がテーマであり、役員誓約事項についても説教しようとしていましたので、「礼拝指針」から学ぶことにしました。

②「献金」については、これも毎年同じように、定期会員総会後の主日、2月第一主日に説教しました。

そのあと、聖書、信条、教会規程の順に役員誓約事項を学び、前回、教会規程の「政治規準・訓練規定」を学びましたので、きょうから「礼拝指針」について始めます。というか、戻ります。礼拝は信徒にもいちばん関わることで、聖書についてと同様、これもちょっと長くなります。

## I 礼拝指針が示す賛美歌

まず、週報の報告欄の下に掲載しました「礼拝および教会活動の指針 まえがき」を読みませう。

- 1 礼拝および教会活動の指針(以下、礼拝指針と略す)は日本キリスト改革派教会の憲法であって、他の憲法、すなわち、ウエストミンスター信仰基準(規)、政治規準、訓練規定と同様、教会及び教会役員に重んじられる教會的文書である。 \*「礼拝指針」でも規準の漢字を間違えています。「日本キリスト改革派教会の憲法」になったら、ウエストミンスター信仰基準はウエストミンスター信仰「規準」になるのです。2009年改正の時に、私も議場にいた議員ですから、私の責任でもあります。
- 2 礼拝指針は、日本キリスト改革派教会の礼拝と教会活動のあり方を示し、教会の諸活動を推進し、教会員の霊性と敬虔の向上をめざしている。
- 3 礼拝指針は、多様な教会活動、特に礼拝の現実と関わるので、それぞれの教会の礼拝や教会活動の方向性を示している。 \*この「方向性」が「指針」です。
- 4 大・中会、各個教会、および教師をはじめ教会役員は礼拝指針をさまざまな領域において適用するため、学習し、解説して、礼拝指針の趣旨の徹底をはかる。 \*説教で「礼拝指針」を学んだのは2010年ですから、10年ぶりです。

① 讃美に関して、旧礼拝指針が「讃美歌や詩篇を歌うこと」としていたのが、新礼拝指針では「詩篇歌や讃美歌その他礼拝にふさわしい歌」となりました。詩篇を歌う讃美歌は多いのですが、詩篇歌と言え、改革派教会の伝統ではジュネーブ詩篇歌です。礼拝にふさわしい歌とは、公的礼拝の讃美歌のことです。新礼拝指針では、基本的に全ての集会は礼拝であるので、主の日の公的礼拝にふさわしい讃美歌のことを「礼拝歌」というように区別しました。

②「礼拝歌」の作成に関して、詩篇歌は「ジュネーブ詩篇歌日本版」で一応できました。全体としての「礼拝歌」の作成は、このあと、ルター派のコラール、現行賛美歌から残すもの、その他聖歌・讃美歌から取り入れるもの、また新作讃美歌の募集というのが40年前の「讃美歌検討委員会」の想定でした。ところ

が、改革派教会の讃美歌作業は、なかなか進みません。上福岡教会でソングシートの作成に取り組んでいるのは、40年前の大会の方針に沿っていることなのです。

## II キリストの言葉と讃美

① さて、コロサイ 3:16 は、初代教会の讃美歌の種類に関する貴重な歴史史料でもある聖句です。「詩篇と讃歌と霊的な歌」を正確に再現することはできませんが、歴史学の方法論には、「今あることは昔もあった」と想定する「類比」というのがあります。つまり、今、上福岡教会にあることは、昔の教会にもあったと想定することです。「詩編歌」、「讃美歌」、「聖歌」などからなる「ソングシート」のようなものは、昔も今も多くの教会に見られる現象であるということです。

類比的に考えてもそうですが、原文の言葉そのものが現在の讃美歌の分類になっているように見えます。「詩篇」は psalmois (英語 psalms サームズ)、「讃歌」は humnois (英語 hymns ヒムズ)、「霊的な歌」(oodais pneumatikais) は定式化した信仰告白の歌であれば、コロサイ書では 1:15~20 の「御子の賛歌：創造の御子にして救いの御子」。また、様々な信仰生活の歌であれば、旧約時代も、ヨブ記・詩篇・箴言・コヘレトの言葉・雅歌に、労働・愛・戦い・死・嘆き・喜びの歌が数多くあります。

② 16節は、二つの文章に訳されていますが、原文では一つの文章です。

ho logos Xristou enoikeitoo en humin plousioos, en pasee sofia didaskontes kai nouthetountes heautous, psalmois humnois oodais pneumatikais, en tee xariti adontes en tais kardias humoon too theo.

これを無理やり一つの文章で訳すと、こうなります。[知恵を尽くして互いに教え、論し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえることによって、キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。] つまり、日本語では主文が最後に来るのですが、原文では「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。」という主文が先です。新共同訳聖書は、その順番どおり訳しているのですが、日本語に無理がないよう二つの文章になりました。その方が読みやすいのですが、命令文が二つになってしまいました。

命令文は一つです。「キリストの言葉があなたがたの内に満ちるようにせよ。」これに、「知恵を尽くして互いに教え論し合うことによって」と、「詩篇と賛歌と霊的な歌により感謝して神をほめたたえることによって」という文言が付いているのです。

「キリストの言葉があなたがたの内に満ちるようにしなさい。」の「あなたがたの内に」は「家の中に」という言葉です。enoikeo ← en+oikos = in house. どういう家でしょうか。「あなたがた」というキリストのからだなる教会です。この神の家にキリストの言葉が満ちるようにしなさいとパウロは教えますが、やはり順番がきちんとしています。讃美は私たちの口から出る言葉ですが、まず神の口から出る教えを学ばねばなりません。「キリストの言葉が教会に満ちるようにせよ。教えることと讃美することによって」なのです。

讃美は祈りの一種です。私たちから神への言葉です。こうして神からの言葉と私たちからの言葉が、順序正しく交わるとき、キリストの言葉は確かに教会

に満ちていきます。讚美は、キリストの言葉が満ち満ちて行くに従って豊かになります。各人の信仰と生活にキリストの言葉が満ちて行くに従って豊かになり、また、教会の成長にキリストの言葉が満ちて行くに従って讚美も豊かになります。これが16節です。

### Ⅲ 何をするにも讚美の心に溢れた生活をせよ

17節も実は、16節から続いている文章です。「そして (kai=and)」という言葉でつなげているので、16節の「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい」という主文にくっつけています。つまり、何によって豊かに宿るようにするかということの続きです。

① 「何を話すにせよ、行なうにせよ。」。Pan ho ti ean poieete en logoo hee en ergoo [何事をするにも、言葉においても働きにおいても]。

すなわち、飲むにも食べるにも何事をするにも、主イエスの名によって行ないなさい。それによって「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい」。

すべて神の栄光のためという世界観人生観を、主イエスの名によって行なうと、主イエスに倣う者となります。主イエスに倣う者となるなら、主イエスに似た者となります。主イエスに似た者になりますと、キリストの香りを放つようになります。これが、私たちの最大の願いです。これが、「イエスによって、父である神に感謝しなさい」の感謝のしどころです。

② 16-17節は、「すべてのことに感謝しなさい」という、第一テサロニケ5:16-18に似ています。多くの人の愛唱聖句になっている、「いつも喜べ、絶えず祈れ、全てのことに感謝せよ。」(p379) 同じ人が書いているのですから似ているわけですが、まことにキリストの香りを放つ聖句です。

この聖句が好きな人は、いつもそうありたいと願うので愛唱聖句になります。ということは、そうではない自分がいるからです。キリストの香りを放つどころか、罪人の悪臭を放つ自分がいる。いつもか時々かは個人差があるとしても、この世で完全にはならないので、誰もが悩み続けることです。しかし、「これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられること」とあるので、やはりこうありたいと願うのです。

キリストの香りは、無理にがんばって放てるものではありません。聖書の教えと賛美によってキリストの言葉に満たされたら、おのずとキリストの香りを放つようになります。キリストに倣ってキリストに似た者となるなら、おのずとキリストの香りを放つようになるのです。その祝福を求めましょう。

## 参考資料：教会堂での活動再開の指針 —アメリカの教会の場合—

- ・ When Your Church Reopens, Here's How to Meet Safely “Christianity Today” May 2020
- ・ Return: A Resource to Prepare Churches and Christian Organizations for the New Normal of COVID-19 Ministry by Scott Brawner, Consilium President  
より、抜粋（コロナウイルス対策班 門脇陽子長老 紹介 訳）。

### <原則>

- ・ コロナ感染のリスクを最低限に抑えながら、礼拝し、祈り、励まし合い、証をし、訓練し、仕える。
- ・ 必ず感染予防の対策を講じてから、礼拝や集会を再開する。  
適切な予防手段をとらずに再開したり、経費節約のために予防手段を中断したりすると、信徒の中で感染に弱いグループがリスクにさらされる。
- ・ 活動は段階的に再開する（どの集会を行うか、どのように行うか、複数の段階を設定する）。近い将来、二度目、三度目の波が到来すると考えられる。地域の感染状況の変動に応じて、段階を引き上げたり引き下げたりする。
- ・ このウイルスには、まだ解明されていない部分が多いので、常に情報を更新し、対策を修正していく。
- ・ 子どもや青少年は症状が出にくい（無症状感染・軽症が多い）が、保有するウイルス量や感染力は変わらない可能性があるため、感染に弱い高齢者を守るためには、世代間の接触をできるだけ少なくする必要がある。
- ・ New Normal（注：日本では「新しい日常」「新しい生活様式」などとされている）を受け入れて、活動する。（⇔もとの生活に戻る）
- ・ 教会堂での活動再開後も、実際のリスクや不安から来ることができない人のために、当面、礼拝のライブストリームやWEB会議を継続する。教会に来ないことで疎外感を感じることがないように配慮する。

### <具体策>

- ・ 社会的距離（対人距離）について  
6フィート（約1.8m）の間隔をとる。  
礼拝堂などで間隔をとる際、同居家族は1単位とみなす。  
座席の記録をとる（列にナンバーをふる）。座席を指定してもよい。座席表は最低3週間保存。  
間隔をとると、会堂に入りきれなくなる場合の対策を立てる。音声・画像を共有できる状態にして、別室も併用する、礼拝を複数回にするなど。  
集会では、座席の配列は向かい合わせを避け、一方向を向くようにする。横並びにする。
- ・ マスク着用について。飛沫とエアロゾルの放出を減らすのに有効。手作りマスクの効果は限定的。
- ・ 消毒の方針を立て、実施する。
- ・ 賛美：リスク高。マスク着用など。
- ・ 献金：礼拝堂の出入口に献金箱を置くなど。オンライン献金。
- ・ 聖餐式：self-contained elements の利用（2016年、仙台の信徒大会の聖餐式で使用したタイプ）
- ・ 茶菓子や食事：休止。談笑のコーナーは、テーブルやいすを撤去。
- ・ 洗礼式：受洗者の体調管理。牧師・長老はマスク・手袋を使用。